

クロージズアップ'15

【21】

この人に聞く



留萌振興局環境生活課主査の

わたなべ **渡辺** あきら **明** さん

「増毛山道再生事業に携わっているのですが、増毛山道とその事業内容について教えてください。」
「増毛山道は、かつて交通の難所とされた雄冬海岸の急峻(きゅうしゅん)な断崖を迂回(うかい)するため、江戸時代末期に増毛の漁場を請け負っていた伊達林右衛門が幕府の命を受けて1310両、現在の金額で約1億7千

貴重な財産を次世代へ

万円の私費を投じて開削した山道の会と連携し、21年度から増毛町別荘と石狩市浜益区幌ら山道の再生を始めました。23年度からは体験トレッキングも実施しています。近年は深いササなどに埋もれていましたが、山道のほとんどが国定公園であり、増毛町側が道有林だったために留萌振興局がNPO法人増毛か。をどのよう分析していますか。効果はあったと考えか。

「自然環境に恵まれておられます。今年もPR活動に力を入れていきます。」
「管内の主峰暑寒別岳などを他の登山道とは違った視点で望むことができます。郵便物中継や宿場として利用された武好駅跡地、仏像の台座、明治時代の電信柱や電線、1等水準点などが残っており、増毛山道ならではの歴史や物語の存在が人気の要因だと思います。」
「小学生向けの体験トレッキングは、単発事業の夏休みミニツアーの一環として実施しました。これまで体験トレッキングは中学生以上を対象にしていましたが、昨年の経歩行空間で開催し、増毛山道から保護者同伴であれば小学生でも参加できることが分かりました。今後はさらに対象年齢を広げていきたいと考えています。」
「27年度はどのような取り組みを予定していますか。」
「増毛山道のこれまでの再生区間は、岩尾一別荘間、および雄冬山直下までの約20キロですが、27年度は増毛山道の最深部である雄冬山直下増毛側終点0.4キロの再生に着手する予定です。増毛山道の石狩市側は国有林のため、道としての再生事業は一つの節目を迎えますが、貴重な歴史や文化の保存、伝承を続けていきます。今後も、私たちの貴重な財産が次世代に末長く引き継がれていくことを願っています。」
(留萌市住之江町一丁目、48歳)
(原田学)

「自然環境に恵まれておられます。今年もPR活動に力を入れていきます。」
「管内の主峰暑寒別岳などを他の登山道とは違った視点で望むことができます。郵便物中継や宿場として利用された武好駅跡地、仏像の台座、明治時代の電信柱や電線、1等水準点などが残っており、増毛山道ならではの歴史や物語の存在が人気の要因だと思います。」
「小学生向けの体験トレッキングは、単発事業の夏休みミニツアーの一環として実施しました。これまで体験トレッキングは中学生以上を対象にしていましたが、昨年の経歩行空間で開催し、増毛山道から保護者同伴であれば小